

5代目グリコ看板リニューアル記念特別展 初代から現在の5代目までの再現模型を展示 「道頓堀グリコネオン」展 開催 7月3日から江崎記念館にて実施

<概要>

江崎グリコ株式会社は、大阪道頓堀にあるグリコ看板のリニューアルに伴い現在の5代目を8月17日(日)に消灯し、2014年秋に6代目の完成を予定しております。

このリニューアルを記念して、企業ミュージアム「江崎記念館」では初代から5代目までの再現模型と共に看板の歴史の紹介パネルを展示する特別展「道頓堀グリコネオン」展を2014年7月3日(木)から11月28日(金)まで開催いたします。(5代目の再現模型は8月18日公開予定です)

1935年(昭和10年)に建設された初代のグリコネオン塔は、当時としては型破りな高さ33mという大きさで、人々の注目を集めました。以来、グリコ看板は大阪のシンボルとして親しまれてまいりました。

再現模型では可能な限り実物に近づくよう、照明器具を使って道頓堀を彩ったネオンの輝きを体感することができるものに仕上げました。

江崎記念館では特別展示以外にも創業時から現在までの歴代のグリコのおもちゃのうち約4,000点を常設展示しています。ぜひこの機会に江崎記念館をご見学下さい。



(制作中の4代目再現模型)



(当時の4代目看板)

【特別展展示内容】

- ① 初代から5代目までのグリコ看板の再現模型とその歴史の紹介パネル（5代目模型は、8月18日から公開予定です）
- ② 歴代グリコ看板の写真、設計図面、デザイン画
- ③ 創業当時の広告部長であり川柳家であった岸本水府が考案した「豆文広告」などの当時の広告資料
- ④ スマートフォン用のARアプリで、当時のグリコネオンとの記念撮影ができます。

【江崎記念館 概要】

江崎記念館は1972年、創立50周年記念事業の一環として、従業員に創業の志を伝え、社業の発展に寄与するため設立したものです。館内には創業以来の江崎グリコのあゆみに関する資料、製品・販促品をはじめ、創業者江崎利一ゆかりの品々を展示しております。展示品の一部は国の近代化産業遺産に認定されています。

- 名称 : 江崎グリコ株式会社 江崎記念館
- 所在地 : 〒555-8502 大阪市西淀川区歌島4-6-5
- 電話番号 : 06-6477-8257
※予約の電話番号も同じ
- 交通手段 : JR東海道本線 塚本駅より徒歩 16分
JR東西線 御幣島駅より徒歩 18分
- 特別展期間中の開館時間 :



月曜日から金曜日	10時～16時（要予約・自由見学）
土曜日（7～8月）	毎週土曜日10時～16時（予約不要・自由見学）
土曜日（9～11月）	第1・第3土曜日10時～16時（予約不要・自由見学）

※ 最終入館時間は15時30分です。

※ 日曜日・祝日およびお盆休み（8月10日から8月17日）は休館です。

※ 特別展期間外の開館時間については江崎グリコHP (<http://www.glico.co.jp/kinenkan/>) をご確認ください。

■ 見学に関する詳細

※ 団体(20名以上)での見学は、事前予約をお願いします。

※ 展示フロアは2階ですが、エレベーター施設はございません。

※ 来館者用の駐車場は完備していません。公共の交通機関をご利用ください。

※ 施設には売店等はありません。

以上

【ご参考①】 これまでのグリコ看板

<p>初代 昭和 10 年～</p>	<p>大阪道頓堀川、戎橋のそばに初めてグリコのネオン塔が立ったのは 1935 年(昭和 10 年)。高さ 33m を誇るネオン塔は、トレードマークのランナーとグリコの文字を 6 色に変化させ、同時に毎分 19 回点滅する花模様で彩ったものでした。当時としては型破りのネオンで、一躍大阪ミナミの名物となりました。</p>	
<p>2 代目 昭和 30 年～</p>	<p>1943 年(昭和 18 年)、戦況が厳しくなり鉄材供出のため撤去されてしまいましたが、戦後の 1955 年(昭和 30 年)、2 代目が再建されました。ネオン塔(高さ 21.75m)は砲弾型の下部に特設ステージ(高さ 5.26m)を持つユニークなもので、そこでは大きな人形のワニ君がピアノをひいたり、人形劇を演じたり、ロカビリー大会を催したりしました。</p>	
<p>3 代目 昭和 38 年～</p>	<p>1963 年(昭和 38 年)には高さ 18m、横 8m の 3 代目にバトンタッチ、噴水ネオン塔になりました。12 トンの水が、トレードマークの中心部にある 150 本の水車状のノズルから噴き出し、12 色のランプ 400 個がそれを照らして、きれいな虹の模様を描きました。落下した水はまたポンプで上のタンクに戻す仕掛けになっていました。</p>	
<p>4 代目 昭和 47 年～</p>	<p>高さ 17m、横 10.85m で 1972 年(昭和 47 年)に建設しました。バックになっている陸上競技場のトラック部分を点滅させ、トレードマークのランナーに躍動感を持たせたネオンでした。このネオン塔は、日没から午後 11 時までネオンが点灯し、競技場の中央コースからゴールインするランナー姿が川面に映え、看板を背景に記念撮影するほどの名物看板になっていました。隣接するビル改装に伴い 1996 年 1 月 21 日に消灯、その翌日から撤去しました。</p>	
<p>5 代目 平成 10 年～ ※現行</p>	<p>1998 年(平成 10 年)7 月 6 日(月)、4 代目の撤去後、約 2 年半ぶりに再点灯されました。陸上競技場のトラックを走るランナーの背景には、大阪を代表する 4 つの建物(大阪城、海遊館、大阪ドーム、通天閣)が描かれています。また、バックの情景の色が変化することで、朝、昼、夕焼けそして夜と、ランナーが大阪の街を一日かけて走っているような姿を表現しました。 【大きさ】 高さ 20.00m、横幅 10.85m 【ネオン管】総数約 4,460 本、のべ 5100m。全 7 色 【点灯時間】日没 30 分後に点灯、24 時に消灯</p>	

【ご参考②】 指定景観形成物について

2003 年 4 月、「大阪市指定景観形成物」に指定されました。これは、大阪市都市景観条例に定められており、大阪市民が親しみ、誇りともする景観的にも優れた建物などを所有者の同意を得たうえで大阪市長が指定するものです。制度制定後の初の指定では当社ネオンのほか、大阪城天守閣、住吉大社など歴史的建造物を含む 12 の建造物が選ばれました。

【ご参考③】 グリコのランナーについて

このランナーは、1922 年の江崎グリコの創業時、つまり、「栄養菓子 グリコ」の創製時に、そのコンセプトに合致するものとして誕生しました。以来、企業理念「おいしさと健康」を表すシンボルマークとして、90 年以上にわたり親しまれております。陸上選手がゴールインする瞬間の姿をモチーフにしており、商標としての正式名称は「c“ゴールインマーク”」です。

【ご参考④】過去実施の江崎記念館特別展

	時 期	展示内容
第一回	2013年2月25日(月) ～5月31日(金)	<p>「大人の『思い出』をミニチュア化 『タイムスリップグリコ <なつかしの20世紀>』」</p> <p>2001年に発売を開始し、当時非常に話題になった『タイムスリップグリコ<なつかしの20世紀>』の精巧なミニチュアおもちゃだけでなく、商品開発についてのエピソード、商品企画書などの資料、ミニチュアおもちゃの「原型」（レジン複製の彩色見本）55点などを展示。</p>
第二回	2013年8月1日(木) ～11月29日(金)	<p>「グリコのおもちゃとおもちゃデザイナー加藤裕三」展</p> <p>木のおもちゃデザイナー加藤裕三氏が手掛けた「親子で遊べるおもちゃ」シリーズの試作品約100点、当時のデザイン画や図面、実際のおもちゃ約150点を展示。</p>
第三回	2014年2月5日(水) ～5月2日(金)	<p>「グリコのおもちゃ係」展</p> <p>「グリコ」の創成期とも言える昭和初期のおもちゃや、そのおもちゃ作りに携わった担当者たちゆかりの社史資料を展示。</p>